

次世代がん治療推進専門家養成プラン

記により講義を行いますので、学生、教職員の方、多数ご来聴下さい。聴講は自由です。

記

P r a c t i c e o f P a l l i a t i v e C a r e

「緩和ケア実践」

7月22日（月）	（樋口）	大学病院における緩和ケアチームによる 身体症状へのアプローチ
7月23日（火）	（三宅）	緩和ケアにおけるこれからの課題
7月24日（水）	（保坂）	サイコオンコロジーと精神療法
7月25日（木）	（荻原）	高齢者の看取り
7月26日（金）	（行田）	在宅における症状コントロール （症例提示を交えながら）

1 時限：18:30-19:50 2 時限：19:50-21:10

質疑応答 21:10-21:30

M&D タワー11F 大学院講義室 3

概 要：

緩和ケアの提供場所として、大学病院、一般病院、在宅医療、施設の立場における実践について学習し理解を深める。

科目担当責任教員：

三宅 智 本学大学院医歯学総合研究科
臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員：（講義順）

樋口 比登実 昭和大学病院 緩和医療科 教授
保坂 隆 聖路加国際病院精神腫瘍科 医長
荻原 隆二 介護老人保健施設 ケアなかめぐろ 施設長
行田 泰明 要町病院 緩和ケア部 部長兼麻酔科部長